

秋季全国火災予防運動

実施期間：令和7年11月9日～15日

全国统一防火標語

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

住宅
防火

いのちを守る10のポイント

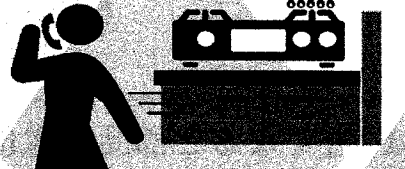
1つの習慣



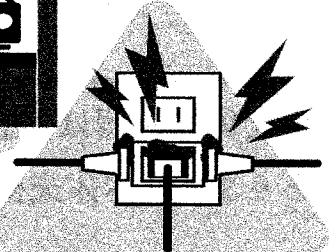
1 寝たばこは絶対にしない、させない



2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない



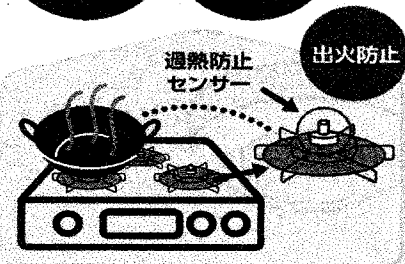
3 こんろを使うときは火のそばを離れない



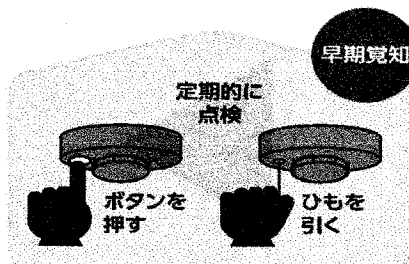
4 コンセントはほごりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く



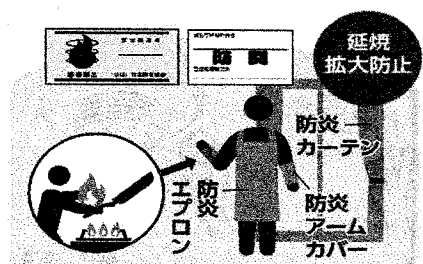
2つの対策



1 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



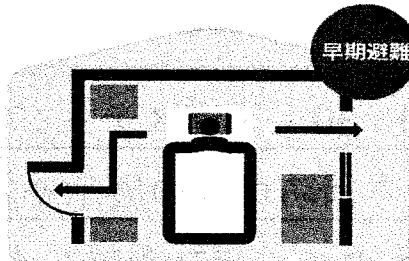
2 火災の早期発見のために、住者用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



3 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する



4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



5 お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



6 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

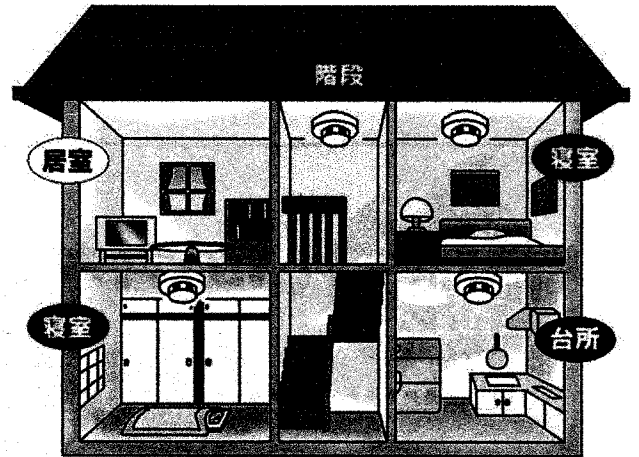
住宅用火災警報器

設置・点検していますか？

※平成23年6月1日からすべての住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられました。住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。

◎住宅用火災警報器の購入及び設置はお任せください。

消防署では、機器の購入代金のみで購入から設置まで完了するサービスを実施しています。

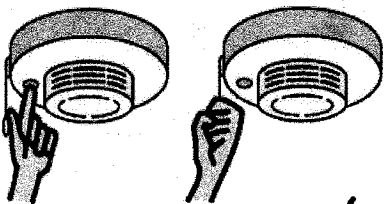


- 取り付けが義務付けられている所
- 取り付けをおすすめする所

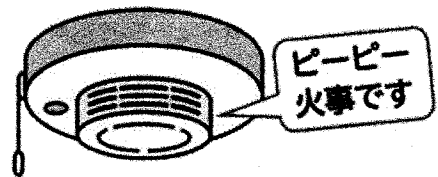
住宅用火災警報器は、古くなると部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。本体交換の目安は約10年です。定期的な点検と交換をお願いします。

点検方法

ボタンを押す又はひもを引く



ボタンを押す又はひもを引く



注目



正常を知らせる音声や 警報音が鳴ればOK！

11月8日(土) 10:00~11:30 メガステージ須賀川において火災予防運動のPR活動を実施します！消防車両の展示や組合イメージキャラクターの「マモタン」も登場しますので、ぜひお越しください。